

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 26. 10. 17 第 187 回国会第 3 号

10 月 17 日（金）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件

- ・岸田外務大臣、江渡防衛大臣、中山外務副大臣、左藤防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

大 串 博 志君（民主）

- ・平成 24 年分の資金管理団体の支出は、どのような方法で会計責任者である私設秘書へ支払われたのか、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・平成 24 年分の支出が人件費として支払われた客観的な根拠として、当該支出を受けた私設秘書の平成 24 年分確定申告書を個人情報伏せの上で当委員会に提出願いたい、江渡防衛大臣、いかがか。

足 立 康 史君（維新）

- ・平成 22 年、平成 23 年及び平成 24 年の自らが代表を務める政党支部からの寄附並びに平成 22 年の資金管理団体の組織対策費の使途を江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・平成 24 年 12 月の総選挙公示日に実施した事務所開きを兼ねた後援会総会は、衆議院解散の翌日にその案内文書を送付するなど、公職選挙法で禁止されている事前運動に当たるおそれがあると考え、左藤防衛副大臣の認識を伺いたい。

照 屋 寛 徳君（社民）

- ・江渡防衛大臣は、今月 10 日に当委員会で行った挨拶の中で、「目に見える沖縄の負担軽減のためにできることは全て行う」と述べたが、目に見える負担軽減の具体的な内容について、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・今月 7 日に受領した「普天間飛行場の『5 年以内運用停止』の期限算定の始期及び運用停止の状態等その定義に関する質問主意書」に対する答弁書では、運用停止の具体的な定義について明らかにされなかったが、その定義に関する江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・沖縄県及び県内全市町村がオスプレイの県内配備の撤回

等を求めた「建白書」の国立公文書館移管に関する江渡防衛大臣の見解を伺いたい。

村 上 史 好君（生活）

- ・今月 8 日発表の「日米防衛協力のための指針の見直しに関する中間報告」では、我が国の対米協力ばかりが目立ち、日本防衛のための米国の役割強化等が見えてこないように思えるが、この点に関して防衛省の見解を伺いたい。
- ・イスラム国への対応やウクライナ情勢といったアジア太平洋地域以外で発生した不安定要因が、米国のリバランス政策に与える影響について、外務省の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮による拉致問題への対応に当たっては、制裁強化も視野に入れつつ断固とした姿勢で臨むべきと考えるが、拉致問題の全面解決に向けた岸田外務大臣の決意を伺いたい。

三 谷 英 弘君（みんな）

- ・今月 15 日の日米首脳電話会談において世界的な広がりをみせるエボラ出血熱については、どのようなことが話し合われたのか、岸田外務大臣に伺いたい。
- ・本年 7 月 14 日の衆議院予算委員会における横畠内閣法制局長官の武力行使に係る新 3 要件に関する答弁に照らせば、ホルムズ海峡の機雷除去は実施できないことになると思われるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・菅内閣官房長官は日米防衛協力のための指針の見直しと安全保障法制の整備は整合させていくと発言しているが、その調整は政府・与党内のみで行うのか、国会における審議も含まれるのか、防衛省の見解を伺いたい。